

課題①
公共交通の維持が厳しい

- ・利用者の減少
- ・運転士不足

運行の効率化

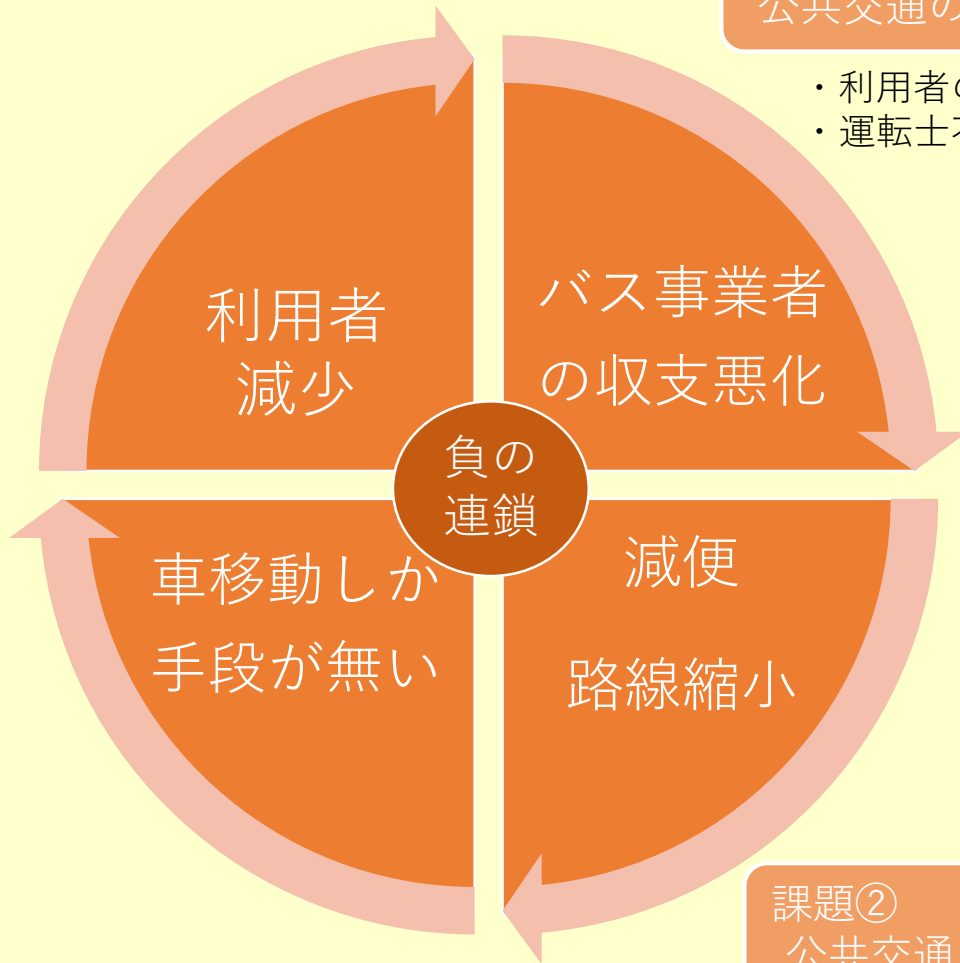
2つの課題を解決するため

自動運転技術を活用

課題②
公共交通の充実

- ・高齢化率 39.08%
(R6.7時点)
- ・65歳以上の
免許返納率1.4%

利用者の
利便性向上



さらに

EVバス車両を活用し、
カーボンニュートラルな
まちづくりを目指します



だからこそ

県内初となる自動運転EVバスの実証実験を西都市が行う

○令和6年度事業

市街地回遊



バスセンター



■スケジュール（予定）

- 走行期間 : 2024年11月上旬～2024年12月下旬
- 乗車可能期間 : 2024年11月下旬～2024年12月下旬

future



温泉施設との結節

バスセンター



観光地回遊



未来に向けてのスタート



はじめるまち。

西都市

あなたのはじめるを応援するまちへ。

宮崎県内で **はじめて**

自動運転 EV バスで
持続可能なまちづくりに挑戦！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT **GOALS**



運行管理システムで
自動運転の安全性を確保

産官学連携

持続可能な
西都市の実現へ

デジタルの力

カーボン
ニュートラル

さいと自動運転推進コンソーシアムの締結

宮崎交通

三和交通グループ
Sanwa-kotsu Group

NICHINAN GROUP



西都市

NTT
西日本

宮崎大学
University of Miyazaki

CO2 を排出しない
電気自動車を採用

